



# コメドールだより

## MONTE ADENTRO 編

### 【はじめに】

ドミニカ共和国第二の都市サンティアゴは、都心は近代的な建物や歴史的な建築物が立ち並びますが、郊外は山や川があり、自然豊かな一面もあります。

今回ご紹介する「Monte Adentro(モンテ・アデントロ)地区」はサンティアゴ北東部にあります。ココナッツやプラタノ畑が広がり、コメドールに続く道で牛がお散歩しています。舗装されていない道もあり、どこか日本の昭和に似たような雰囲気のある地区です。ただコメドールには電球が一つしかないので、室内は薄暗いです。天気の良いと日の光が室内に入り、手元が見えやすいので子ども達と晴れを願って過ごしています(´▽`)

### コメドールのプチ情報

- ① 教会に隣接している。  
運営団体がカトリック教会直轄の機関なので、教会と同じ敷地又は近所にあります。
- ② 薬局がある。全てのコメドールではないですが、同じ敷地に薬局が入っている事があります。薬局は同じ団体が運営しています。
- ③ 子ども達を支える Padrino。コメドールに通う子ども達の食費等は「Padrino (パドリーノ)」と呼ばれる後援者が寄付しています。

### 隊員紹介

青年海外協力隊  
2016 年度 2 次隊

長江 茉莉子

(ながえ まりこ)

サンティアゴ各地で活動中

## 【ちょっぴり自給自足なコメドール】

モンテ・アデントロのコメドールには、庭にプラタノ（大きな緑色のバナナ）が植えてあり、プラタノが実ると隣接する薬局のスタッフが収穫します。収穫されたプラタノは、コメドールの子ども達とスタッフが美味しくいただきます♪



【写真①】採れたてのプラタノ（新鮮で美味しいです！）

## 【活動紹介】

モンテ・アデントロの子ども達は「（ハサミで）切る」事が好きです。私が準備の時にハサミを取り出すと「やりたい！やりたい！」と子ども達が集まってきました。試しに必要な材料を子ども達に切ってもらおうと、子ども達は真剣な表情でモクモクと作業をこなしました。それからは「切る」練習を兼ねた作品作りをしています。



【写真②】3度目の正直「マリ！見てみて！」

2018年は各コメドールに「誕生日の壁面を作って飾る」事になりました。誕生日の壁面に切り紙を取り入れました。最初は切る場所を間違えて、紙がバラバラになって呆然としていた男の子。

でも、切り方をもう一度見せると「分かった！ここは切っちゃいけないんだ！」と言って猛スピードで切り始めました。3回目にはきれいな切り紙ができました♪

各パーツが出来上がったら子ども達とプチ会議。どんな風に飾っていくか子ども達の意見を基に作っていきます。



【写真③】プチ会議中「この口ウソクはどこに飾ろう？」



【写真④】誕生日の壁面飾り

3歳から13歳の子ども達が協力して作った壁面飾り。初めて作る子がほとんどだったので、出来上がった時はみんな大喜びでした♪誕生日カードを作って、月ごとにケーキに飾れるようにしました。

## 【Anda（すごい！）】

モンテ・アデントロの子ども達がよく使う「Anda(アンダー)」…。この言葉には二つの意味があります。

「あーあ…（がっかり・不満）」と

「すごい！（なるほど・喜び）」です。

自分で作品を作り上げた子ども達は後者の「Anda(すごい！)」を言います。特に、作品を作り終わるとコメドールの先生が写真を撮るので、喜んで先生の元へ行って写真を撮ってもらいます。そして先生が撮った写真を見て「Anda（アンダー）！」と笑顔になります。子ども達がこだわる写真のポイントは「自分と作った作品」が綺麗に取れている事。自分と同じくらい作った作品を大切にしてくれる子ども達。

「今度はいつ来てくれるの？」…その質問が私の活動の力となります。



【写真⑤】Anda（すごい！）

真ん中の男の子は「もう無理！」と言いながらも、最後まで自分で作り上げ、自信に満ちた表情に♪